

平成30年度 「子供司書」養成講座全体研修

- 日 時：平成30年7月24日（火） 10：00～16：35
- 場 所：庄原市田園文化センター
- 対象者：「子供司書」養成講座受講者17名（庄原市内小学校第5・6学年希望者）

目 的

児童の中に読書活動を推進するリーダーを育成し、育成したリーダーが学校や地域で読書活動の楽しさを広めていくことで、児童の読書活動の充実を図るとともに、言語活動の充実により学力向上を図る。

講話 「『子供司書』になろう！」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導係 指導主事 赤木 一成



【講話の概要】

- 「子供司書」の役割は、子供の読書活動を進めるリーダーである。読書の楽しさを周りの友達に伝え、読書を好きになってもらうことが大切である。
- 「子供司書」に認定されるためには、全体研修と地域の図書館での実地研修、学校での活動を行うことが必要である。
- 人に本を薦めるだけでなく、自分自身も幅広いジャンルの本を読み、より読書好きになってほしい。

演習 「『読書っていいな』大作戦！」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導係 指導主事 赤木 一成



【演習の概要】

- 庄原市の小学校5年生が1週間に家庭で読書する時間のグラフから、分かったことや考えたことを交流した。その後、小学生がもっと本を読むようになるにはどうしたらよいかについて、ピラミッドチャートを用いてグループで考えた。
- 参加した児童は、本の楽しさを伝えるためにマンガ立ち読みコーナーを設置する、購入する本についてアンケートを行うなどの作戦を考えた。

講話・演習 「読み聞かせのプロから学ぼう！」

読書ボランティア「おはなしのいずみ」 代表 立花 有佐 さん



【講話・演習の概要】

- 読み聞かせをする際に、だれに対して読むのか、どんな本を読むのかという本の選書がとても重要である。
- 絵本の読み聞かせは、絵をしっかりと見せることが必要である。本を持つ際や本をめくる際に、手で絵を隠さないよう留意する必要がある。
- 聞き手の目線と本の高さや向きに留意する必要がある。聞き手が椅子に座っている場合は立って、聞き手が床に座っている場合は、椅子に座って読み聞かせをするとよい。
- 読み聞かせをする際には、何回も練習（目安は100回）をして、臨む必要がある。

演習 『『おすすめの本のポップを作ろう』大作戦！』

庄原市教育委員会 教育指導課 指導係 指導主事 赤木 一成



【演習の概要】

- タイトルや作者名をはっきり分かりやすく書く、内容を少しだけ紹介する、キャッチコピーを書く、輝く言葉を引用する、デザインやイラストを工夫する、どうおもしろいかを書くといった6つのポイントを生かしながら、自分の紹介したい本のポップを作成した。

参加した児童の感想

- ・「読書っていいな大作戦！」で考えた作戦は、これから自分が学校で行う活動のヒントになると思いました。
- ・「読み聞かせのプロから学ぼう！」では、読み方だけではなく、どんな本を読むか、本の持ち方、挿絵の見せ方の工夫など、たくさん気を付けることがありびっくりしました。
- ・今日の研修では、読み聞かせの時の本の持ち方や本を読む時のポイントが分かりました。学校では、学んだことを活用して、休憩時間などに、自分がおもしろいと思った本を読み聞かせしたいです。
- ・日本十進分類法を学んだので、調べ学習などに役立てたいと思いました。
- ・「子供司書」として、色々な活動をしていくことがとても楽しみです。「子供司書」として、一人でも多くの読書好きを増やすために、本の楽しさやすばらしさを伝えていきたいです。